世界水泳・競泳　金2　銀2　銅2

東京へ若手強化急げ

瀬戸ら帰国

水泳の世界選手権（韓国・光州）で金メダル2個、銀メダル1個を獲得した競泳男子の瀬戸大也（ANA）ら日本代表が29日、羽田空港に帰国した。メダリスト4人には花束が贈られ、瀬戸は「一年一年積み上げてきた成果を出せた。頑張ってきてよかった」と白い歯を見せた。

個人メドレー2冠を達成し、日本競泳陣では唯一、2020年東京五輪代表の座も勝ち取った瀬戸。これからの1年は「苦手なものを一つ一つ潰していく」と腰を据えた強化に取り組む覚悟で、「長い強化を耐えてこそ強くなれる。自分の人生の山場になる」と強い決意を示した。

8月2日開幕のワールドカップ東京大会（東京辰巳国際水泳場）には、400メートル個人メドレーに出場予定。好敵手で4月の日本選手権を欠場した萩野公介（ブリヂストン）も、200メートル個人メドレーと200メートル自由形にエントリーしており、復帰レースとして注目される。

瀬戸（手前）ら世界選手権のメダリストは笑顔で帰国した＝羽田空港

世界選手権で日本競泳陣が獲得したメダル

メダル	種目	選手
金	男子200メートル個人メドレー	※瀬戸大也
金	男子400メートル個人メドレー	※瀬戸大也
銀	男子200メートル自由形	松元克央
銀	男子200メートルバタフライ	瀬戸大也
銅	男子200メートル平泳ぎ	渡辺一平
銅	女子400メートル個人メドレー	大橋悠依

※金メダル獲得で東京五輪代表に内定

低調の女子「競争力高める」

日本競泳陣は金2、銀2、銅2の計6個のメダルを獲得した。萩野公介（ブリヂストン）や池江璃花子（ルネサンス）が不在の中、2016年リオデジャネイロ五輪を控えた15年大会（金3、銀1）よりメダル総数は増加。低調に終わった4月の日本選手権を思えば、「よくここまで成績を出せた」と日本代表の平井伯昌監督は一定の評価を示した。

楽観はできない。今大会は種目ごとのレベルの差が激しく、瀬戸が制した男子400メートル個人メドレーの優勝タイムは、前回17年大会から3秒05遅い。一方、渡辺一平が銅を獲得した男子200メートル平泳ぎは、終盤まで3選手が世界記録ペースを維持するハイレベルな試合になった。

平井監督は「今年はタイムが低かったからといって、来年も決勝に残れるだろうという甘い考えはダメ」と慢心を戒める。

課題としてみえてきたのは若手の育成だ。今大会、男子バタフライは19歳のクリシュトフ・ミラク（ハンガリー）が200メートルで、女子背泳ぎは17歳のリーガン・スミス（米国）が100メートルと200メートルで驚異的な世界新記録を樹立。10代選手が話題をさらった。

日本勢で今回新たに表彰台に立ったのは男子200メートル自由形の松元克央（セントラルスポーツ）のみで、メダリスト4人は全員社会人だった。

全25選手のうち10代選手は6人。そのうち個人種目で決勝に進んだのは女子200メートル自由形で8位の白井璃緒（東洋大）と女子100メートル背泳ぎで6位酒井夏海（スウィン美園）だけ。いずれも表彰台には遠かった。

「ベテランの頑張りはうれしいが、若手の発掘、強化が遅れている」と平井監督。24年パリ五輪以降も見据え、8月20日開幕の世界ジュニア選手権（ブダペスト）に帯同して若手の底上げを図る方針を示した。

メダル獲得が大橋悠依（イトマン東進）の銅1個に終わった女子も、てこ入れが急務だ。今秋には、長野県東御市に完成予定の高地トレーニング施設を使った代表合宿も計画している。1年後に迫る東京五輪へ向けてチームの結束を高めるとともに、「国内競争力を高めていかないと」と指揮官は危機感をにじませた。（川峯千尋）

チェックEYE　野口智博氏

瀬戸　苦手の背泳ぎ克服

28日の男子400メートル個人メドレーは、瀬戸大也が4分8秒95で優勝した。最後はバテたが、250メートルまでのラップを見ると、日本記録（4分6秒05）を超える4分5秒台が現実味のあるタイムに思えてきた。

特に2種目目の背泳ぎはいいリズムで入れていた。キックが速く打てないのが瀬戸の課題だったが、腕を回すピッチを上げることで推進力を出せるようになった。

200メートル個人メドレーの強化の過程で、背泳ぎのスピードを上げる技術をつかんだことが400メートル個人メドレーにも生きていた。

本来休息を取る日に男子800メートルリレーを泳いだ影響か、最後はガソリンが足りなかったように思う。今後は前半を攻めて泳いでも最後まで体力が持つような、もう一回り強度の高いトレーニングが必要になってくる。

東京五輪は日程が異なり、400メートル個人メドレーは大会序盤に組み込まれている。誰もがフレッシュな状態で泳げるだけに、今大会とは違った展開が予想される。今年は不調だった前回覇者のチェース・ケイリシュ（米国）らも、来年は今回の屈辱を晴らしに来るだろう。

東京五輪までにもう一段上の疲労耐性を身につけるべく、選手とコーチがどんな策を講じてくるかに注目したい。

（日本水泳連盟科学委員、400メートル自由形元日本記録保持者、日大文理学部教授）

堀米　大技で逆転V

スケートボード
ストリートリーグ

五輪金メダル候補　証明

【ロサンゼルス＝共同】来年の東京五輪で初採用されるスケートボードの世界最高峰プロツアー、ストリートリーグ（SLS）第2戦は28日、米ロサンゼルスで決勝が行われ、男子は昨年に3勝した堀米雄斗（XFLAG）が35・7点で制した。ストリートの五輪予選対象大会第3戦を兼ねており、20歳の堀米は五輪予選初の表彰台。17歳の白井空良（ムラサキスポーツ）は27・0点で6位だった。池田大亮（同）は準決勝で29位と振るわず敗退した。

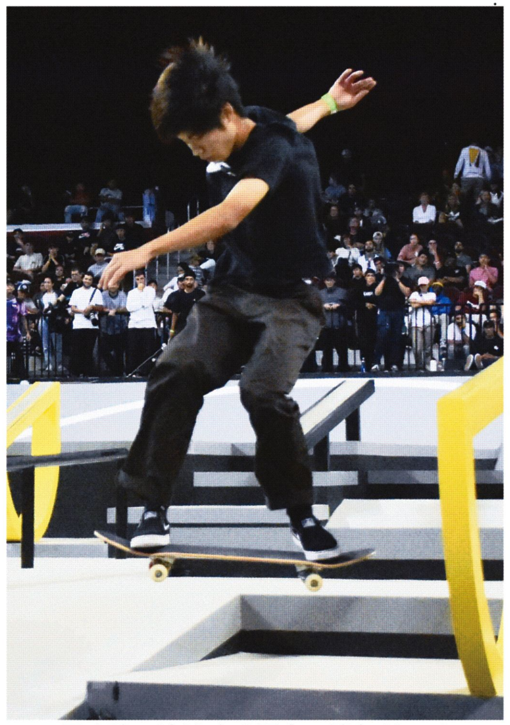
女子は1月の世界選手権（ブラジル）を制した17歳の西村碧莉（木下グループ）が22・1点で、五輪予選では自己最高となる4位に入った。12歳の織田夢海（ムラサキスポーツ）は8・1点で8位。ライッサ・レアウ（ブラジル）が23・3点で優勝した。

大技の「ノーリー・バックサイド270ノーズスライド」を決めると、男子の堀米は大きく息をついた。「本当にほっとした」と振り返った6回目の試技で9・4点をマーク。最後の1回を残して大差の首位に立ち世界王者のヒューストン（米国）らを突き放した。

準決勝は敗退の危機から最後の試技に成功して突破。決勝も5回目を終えた時点では表彰台圏外だった。重圧の懸かる場面にも「ライバルとかは全然気にしていなくて」と、自分の滑りに集中したという。進行方向に背を向けながら回転し、背の高いスライドレールを板の先端で滑り降りてからぴたりと着地。大逆転で喝采を浴びた。

昨年は目覚ましい躍進を遂げたが、今年は5月のSLS第1戦、先月のデュー・ツアーと五輪予選では続けて準決勝で姿を消した。西川監督は足の負傷で着地に影響が出ていたと指摘するが、本人は「あまりそんな感じでは言いたくない」と言い訳はしなかった。

決勝で9点台を3つそろえるなど、改めて世界トップレベルの実力を示した五輪の金メダル候補。「常に頑張っていくしかない。何も考えずに頑張る」と、さらなる成長を期した。


男子決勝で演技する堀米。勝負どころで大技を決めた　＝ロサンゼルス（共同）

再び夢舞台へ

ママアスリート　谷真海の挑戦

義足17年　難しい調整

「正解が見えない」

「もう17年も付き合っているのに、正解が見えない。義足って、本当に難しい」。パラトライアスロンで2020年東京パラリンピックを目指す谷真海（サントリー）から珍しく弱音が漏れた。

20年大会のポイント獲得のためのレース初戦となった6月末の世界シリーズ・モントリオール大会。谷は自身の障害クラスPTS4で3位と出遅れた。20年大会は障害の程度が軽いPTS5の選手と同じクラスで実施されるため、PTS5も含めた順位が重要になる。

全体9位。陸上走り幅跳びから転向し、4大会目となるパラリンピック出場へ壁は高い。

浮上のきっかけをつかみたい―。焦点を当てたのが義足だった。走行時に地面から受ける反発を力に変える「しなり」の部分の硬度は6段階。硬くなるほど跳ね返りが速くスピードが出る。ただ、硬い分だけ押し込むパワーと筋力が必要になる。逆に柔らかくなれば、体の負担は軽い。十分にしなるために跳ね返りが遅く、スピードを求めるには限界があるが、5キロのランがあるトライアスロンなど持久系の競技に向くとされる。

谷は瞬発系の走り幅跳びから転向した際、硬度を「4」から、より柔らかい「2」へ変えた。ただ、ランで苦戦が続く最近のレースを見た義足を作ってくれる義肢装具士の臼井二美男さんから「義足に十分に力を伝えられていないんじゃないか」と指摘された。

体重をしっかりと乗せ、義足の機能を生かした走りを心がけるため、モントリオールのレースに向けて、硬度を「1」と最も柔らかいタイプに変えた。

6月の世界シリーズ・モントリオール大会で3位に入った谷（右）。東京パラリンピックへの争いが本格的にスタートした（本人提供）

本来なら少しでも硬い「2」を使いこなすほうがスピードは出る。スイム、バイクを終えた後の疲労が蓄積した体の負担軽減を優先したのだ。結果、苦しい後半にペースアップできた。「2」で走った今シーズン初戦の同シリーズ横浜大会より1キロ当たりで10秒近くも速くなった。

次なる課題はバイク（自転車）の義足だ。横浜ではトランジションで履き替えるタイムロスをなくすため、ラン用の義足で初めてバイクをこいだが、十分な力を伝えられずに苦戦。「自転車を操るという部分では、まだ素人の域を出ていない。だったら、トランジションでタイムロスをしても、バイク用の義足で勝負したほうがいいのかな、と」。20年のテスト大会となるお台場での次戦（8月）は昨シーズンまでと同様、2足の義足を使い分けるプランだ。

苦しめられるのは、トレーニングで生じる義足との接着部分の傷の痛みだ。練習を休んでも、日常生活でも義足は欠かせないため、なかなか傷が治らない。「義足は自分の体の一部。やることはたくさんあるのに…」。練習を積めないもどかしさが募る。「でも、あと1年ありますから」。最終プレゼンターとして招致成功に貢献後、20年大会はアスリートとして迎えると心に決めた。初志を貫くために前を向く。（田中充、掲載随時）

東京Dなどでハム主催試合

五輪開催伴い

パ・リーグは29日、東京五輪が開催される2020年シーズンの公式戦日程を発表した。五輪開催に伴い、本拠地が使用できなくなる日本ハムは東京ドームや地方球場で計10試合の主催試合を行う。

サッカーの競技会場となる日本ハムの本拠地、札幌ドームは6月16日～8月16日まで使用できない。この期間中、東京ドームで2試合の主催試合を行うほか、釧路市民球場、旭川市のスタルヒン球場、静岡市の静岡県草薙総合運動場野球場、那覇市の沖縄セルラースタジアム那覇などで2連戦の地方試合が組まれた。

公式戦は例年より早い3月20日にセ、パ同時開幕し、7月21日から8月13日まで中断する。例年と同じく、各チーム143試合を戦う。

大谷　無安打

米大リーグ

【アナハイム＝共同】米大リーグは28日、各地で行われ、エンゼルスの大谷がアナハイムでのオリオールズ戦に「3番・指名打者」でフル出場し、4打数無安打で3試合ぶりに安打が出なかった。チームは5―4でサヨナラ勝ちし、3連敗でストップした。

⚾…ア・リーグ…⚾

レイズ　10―9　ブルージェイズ

ツインズ　11―1　ホワイトソックス

ロイヤルズ　9―6　インディアンス

エンゼルス　5―4　オリオールズ

アスレチックス　6―5　レンジャーズ

マリナーズ　3―2　タイガース

ヤンキース　9―6　レッドソックス

⚾…ナ・リーグ…⚾

フィリーズ　9―4　ブレーブス

マーリンズ　5―1　ダイヤモンドバックス

レッズ　3―2　ロッキーズ

メッツ　8―7　パイレーツ

ナショナルズ　11―4　ドジャース

カブス　11―4　ブルワーズ

ジャイアンツ　7―6　パドレス

⚾…交流戦…⚾

アストロズ　6―2　カージナルス

エビアン女子ゴルフ

安田37位

【エビアン（フランス）＝共同】女子ゴルフのメジャー第4戦、エビアン選手権は28日、フランス南東部エビアンのエビアン・リゾートGC（パー71）で最終ラウンドが行われ、67で回った24歳の高真栄（韓国）が通算15アンダー、269で3位から逆転優勝した。4月のANAインスピレーションに続くメジャー2勝目で米ツアー通算5勝。優勝賞金61万5千ドル（約6700万円）を獲得した。

キム・ヒョージュ（韓国）ら3人が2打差の2位。21位からスタートした18歳のアマチュア、安田祐香は75で通算イーブンパーの37位となった。横峯さくらは3オーバーの52位、鈴木愛が4オーバーの55位だった。

フェデックスセントジュード招待ゴルフ

今平27位　松山43位

【メンフィス（米テネシー州）＝共同】男子ゴルフの米、欧州ツアーを兼ねる世界選手権シリーズ、フェデックスセントジュード招待は28日、テネシー州メンフィスのTPCサウスウインド（パー70）で最終ラウンドが行われ、65で回ったブルックス・ケプカ（米国）が通算16アンダー、264で優勝した。米ツアーでは今季3勝目で通算7勝とし、賞金174万5千ドル（約1億9千万円）を獲得した。

今平周吾は72で通算3アンダーの27位、松山英樹も72でイーブンパーの43位だった。市原弘大は6オーバーの55位、堀川未来夢は10オーバーの58位。

◉原沢、延長戦で一本負け　柔道のグランプリ大会最終日は28日、ザグレブで男女計5階級が行われ、世界選手権（8月25日～9月1日、日本武道館）男子100キロ超級代表で2016年リオデジャネイロ五輪2位の原沢久喜（百五銀行）が決勝でゲラ・ザーリシビリ（ジョージア）に延長戦で一本負けし、2位に終わった。

世界選手権女子78キロ超級代表の素根輝（環太平洋大）は決勝でボスニア・ヘルツェゴビナ選手が棄権したため、不戦勝で優勝。同78キロ級でリオ五輪代表の梅木真美（ALSOK）はフランス選手との決勝を制した。男子90キロ級の村尾三四郎（東海大）は決勝でジョージア選手に敗れた。（共同）

◉フェンシング女子エペ寺山V　全国高校総合体育大会（インターハイ）第3日は29日、鹿児島県霧島市牧園アリーナなどで7競技が行われ、フェンシング女子エペは7月の世界選手権代表で前回2位の寺山珠樹（京都・乙訓）が高橋栄利佳（埼玉・与野）を延長の末、9―8で下して優勝した。

男子エペは関原麗允（群馬・沼田）が制覇。サーブルは女子が高橋千里香（福岡・玄界）、男子は小久保真旺（埼玉・星槎国際）が勝った。

サッカー女子は昨年準優勝で2大会ぶりの頂点を狙う日ノ本学園（兵庫）など4強が出そろった。

ホッケー男女準々決勝で、ともに2連覇を目指す男子の今市（栃木）と女子の石動（富山）が4強入りした。

ソフトボール女子2回戦で山梨学院の田中愛花投手が完全試合を達成。ボクシングやレスリングで競技が始まった。

32チーム熱戦

ティーボール選手権

「文部科学大臣杯争奪第22回全国小学生（3、4年生）ティーボール選手権大会」（主催・日本ティーボール協会、共催・西武ライオンズ、日本リトルリーグ野球協会、後援・スポーツ庁、産経新聞社など）が29日、埼玉県所沢市のメットライフドームで行われ、地区予選を勝ち抜いた32チームが熱闘を繰り広げた。

ティーボールは野球のルールを基にし、バッティングティー（専用の台）に置いたボールをバットで打ち得点を競う球技。決勝は、昨年優勝の東海代表の「神戸スポーツ少年団」（三重県）＝**写真**＝が南関東代表の「愛甲小ソフトクラブ」（神奈川県）を11―5で破り2連覇を達成した。中川直太朗主将は「チームとして『打つ』『投げる』『捕る』『走る』の全てに頑張れた」と喜びを語った。

「第10回亜洲（アジア）オープンティーボール大会」も併せて行われ、中国などから13チームが参加した。

高校野球地方大会

第101回全国高校野球選手権大会への出場を懸けた地方大会は29日、各地で行われ、大阪大会決勝では、2017年選抜大会準優勝の履正社が金光大阪を7―2で下し、3年ぶり4度目の出場を決めた。

広島商は15年ぶりに夏の甲子園切符を手にした。

今春の選抜大会4強の明石商（兵庫）、同8強の智弁和歌山と筑陽学園（福岡）、智弁学園（奈良）も名乗りを上げた。

誉（愛知）と富島（宮崎）は初出場。中京学院大中京（岐阜）、静岡、宇部鴻城（山口）も出場を決めた。

⚾**「意地を見せてくれた」**　静岡が4年ぶりに夏の甲子園出場を決めた。2点を追う七回に3点を挙げて逆転。3人の継投で2点に抑え込んだ。栗林監督は「七回に3年生たちが意地を見せてくれた。選手たちがよく頑張った」とねぎらった。

小岩主将は「投手が粘り強く投げてくれた。甲子園では全員野球で優勝を目指したい」と意気込んだ。

サンスポ電子新聞　東京&大阪版両方読める!!
・お得で使いやすい「マルチデバイス版」。月額2000円（税別、自動更新）。検索は「産経電子版」で。
・お問い合わせは産経デジタルサポートセンター
電話0120・200・188（平日10時～18時）

きょうの注目　11地区で甲子園出場校決定

中京学院大中京　3年ぶり7度目

【岐阜】
▽決勝
大垣日大　101　003　100　6
中京学院大中京　004　000　40×　8
（大）村田、内藤、村田、内藤―松吉
（中）不後、赤塚、元―藤田
（中京学院大中京は3年ぶり7度目の出場）

静岡　4年ぶり25度目

【静岡】
▽決勝
駿河総合　020　000　000　2
静岡　000　000　30×　3
（駿）渡辺、森祐―窪田
（静）松下、松本、石田―小岩
（静岡は4年ぶり25度目の出場）

誉　初出場

【愛知】
▽決勝
誉　100　220　030　8
桜丘　000　001　000　1
（誉）杉本、山口―林山
（桜）堀尾、吉見、堀尾―伊藤大
（誉は初出場）

履正社　3年ぶり4度目

【大阪】
▽決勝
履正社　000　301　102　7
金光大阪　100　010　000　2
（履）清水、岩崎―野口
（金）辻本、鯵坂、春本、鯵坂―古川
本　井上、野口、小深田（以上履）
（履正社は3年ぶり4度目の出場）

明石商　2年連続2度目

【兵庫】
▽決勝
明石商　000　000　004　4
神戸国際大付　000　001　000　1
（明）中森―水上
（神）松本、鍵―福元
（明石商は2年連続2度目の出場）

智弁学園　3年ぶり19度目

【奈良】
▽決勝
高田商　001　000　103　5
智弁学園　341　000　31×　12
（高）岩井、津田、中島―大住
（智）西村、小畠―佐藤
本　塚本、坂下（以上智）
（智弁学園は3年ぶり19度目の出場）

智弁和歌山　3年連続24度目

【和歌山】
▽決勝
智弁和歌山　303　200　013　12
那賀　001　000　000　1
（智）小林樹、矢田、中西、池田―東妻
（那）谷脇―田村仁
本　黒川（智）
（智弁和歌山は3年連続24度目の出場）

広島商　15年ぶり23度目

【広島】
▽決勝
広島商　208　000　000　10
尾道　001　006　000　7
（広）倉本、中尾―山路
（尾）井上、滝本、宗清、大土井、井上―山口
（広島商は15年ぶり23度目の出場）

【徳島】
▽準決勝
富岡西　004　000　4　8
池田　000　000　0　0
（七回規定によりコールドゲーム）
徳島商　001　100　010　0　3
鳴門　000　002　100　1X　4
（延長十回）

【愛媛】
▽準決勝
小松　000　000　02　2
松山聖陵　200　300　04X　9
（八回規定によりコールドゲーム）
聖カタリナ学園　000　000　001　1
宇和島東　000　050　00×　5

宇部鴻城　7年ぶり2度目

【山口】
▽決勝
西京　000　010　000　1
宇部鴻城　000　700　00×　7
（西）久野、小畑、原田―西村
（宇）池村―山本雄
（宇部鴻城は7年ぶり2度目の出場）

筑陽学園　16年ぶり2度目

【福岡】
▽決勝
筑陽学園　000　022　012　7
西日本短大付　012　000　010　4
（筑）西舘―進藤
（西）江崎―神宮
本　進藤（筑）
（筑陽学園は16年ぶり2度目の出場）

富島　初出場

【宮崎】
▽決勝
富島　101　200　000　4
小林西　000　000　000　0
（富）黒木拓―黒田人
（小）鶴田、照喜名、大城―高橋
本　黒木剛、松浦（以上富）
（富島は初出場）

きょうのスポーツ

◆総合　全国高校総合体育大会第4日（10時・薩摩川内市総合体育館ほか）

きょうのプロ野球

⚾…セ・リーグ…⚾
巨人―広島（山口―モンティージャ）（18時・東京D）
DeNA―ヤクルト（上茶谷―ブキャナン）（17時45分・横浜）
阪神―中日（ガルシア―大野雄）（18時・甲子園）
⚾…パ・リーグ…⚾
日本ハム―楽天（吉川―弓削）（18時・札幌D）
西武―ソフトバンク（今井―高橋礼）（18時・メットライフ）
ロッテ―オリックス（岩下―田嶋）（18時15分・ゾゾ）